

# 平成27年度 全国学力・学習

昨年4月に実施された全国学力テストについて、昨年末に文部科学省から、全国結果を基にした報告書と、生活実態調査や学校での取り組み状況とのクロス集計が公表されました。立科町では、11月に学年・学校・行政の取り組み状況について分析した総括表をもとに、教育委員会で検討が行われました。これらから見えてくる成果や課題について報告します。

## 1. 全国学力テストにおける町内児童生徒の結果について

今年度は理科も調査対象になっています。

### 小学6年

|             |                    |
|-------------|--------------------|
| 国語A（主として知識） | 国及び県の平均を下回っています。   |
| 国語B（主として活用） | 国及び県の平均を下回っています。   |
| 算数A（主として知識） | 国及び県の平均をやや上回っています。 |
| 算数B（主として活用） | 国及び県の平均をやや下回っています。 |
| 理科          | 国及び県の平均を下回っています。   |

**学校での分析** 国語については言葉力不足が推測される。全教科通して認められるのは、言葉で表されている事象を具体的にイメージする力が弱いこと。算数は5・6年でTT(ティームティーチング)授業を実施し、児童がみな集中した取り組みの中で、深く聞き取り、考えを言葉に表し、正しく伝える活動を重視している。

### 中学3年

|             |                         |
|-------------|-------------------------|
| 国語A（主として知識） | 国及び県の平均を下回っています。        |
| 国語B（主として活用） | 国及び県の平均をやや下回っています。      |
| 数学A（主として知識） | 国の平均をやや下回り、県の平均とほぼ同じです。 |
| 数学B（主として活用） | 国の平均をやや下回り、県の平均とほぼ同じです。 |
| 理科          | 国及び県の平均を上回っています。        |

**学校での分析** 国語は、あと1問正答すれば全国平均になる。これまで様々な場面で書く練習を積み重ねてきたが、「書く」力は全国平均を超えてきた。数学は小中高連携事業や少人数学級で授業を行っているが成果が出てきた。

## 2. 生活実態について全国や県との比較結果

### 小学6年

昨年度の6年生では非常に目立った携帯電話やスマートフォンの使用時間は県平均程度までに減少しましたが、テレビを毎日3時間見ている児童が4割以上もいます。

意識と学力の関係では、「毎日同じ時間に起きる」「友達の意見を最後まで聞く」「いじめはどんな場合もよくないと思う」児童は学習到達度が高い傾向があります。毎日の生活及び学習と将来の夢を結びつけている児童が少なく、学習への動機づけが弱い部分を改善していく必要があります。